

子どもは、真似します。保護者からの連絡にも登場します！

3. 魔法の水 4月13日

まつぼっくりを水の中に入れてと……………。
目の前で変化が現れ、とても楽しくなる。

水槽に水を入れ、教卓の上に置き、目を閉じて、両手は水槽の上に広げて置き、小さな声で呪文を唱える。

「○△■×▲●□」

いつになく真面目に行く。

「よしっ！」

小さなドラマが始まる。



ポイント 多くを語らず神妙に行く。

子どもは、家で真似して行い、自慢げに報告する。

比較するもの 乾いたまつボックリと水の中のまつボックリ
視点 水による変化

次につなげる視点 秋頃 乾燥したパリパリの落ち葉を柔らかくする
1月頃 乾燥と湿気
(冬芽のしくみ=乾燥からの身を守ること)

4月13日(月)

朝の会で時間があつたので、魔法の水でまつボックリを変身させるところを実演しました。

水を入れた水槽の上で手のひらを返して、じっとすると、静まりかえって、集まる目、目、真剣な目、かわいいまんまるの目、

『この魔法の水に、開いたまつボックリを入れると、魔法でまつボックリがピシッと細くなります。』

(……?……)

(え?)

(うそだあ)

<ポチャン>

『今日みんなが帰る時間までには、まつボックリが変わっています。』

(本当?)

不思議そうに見つめる目、「嘘だ」と言いたそうな顔、ドキドキしている顔、私は、この瞬間が大好きです。

モジュールの後、子どもたちと図工室へ向かいました。

2時間目が終わる頃、まつボックリは半分くらい閉じてきました。

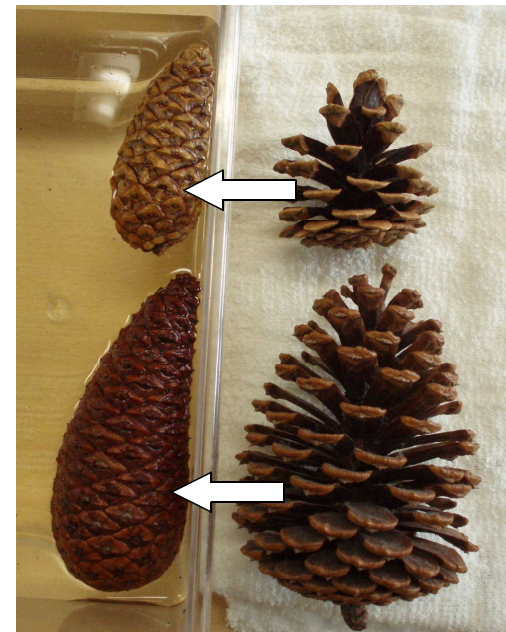
3時間目の読書の時間、メディアセンターから戻る頃には、もう上のような形になっていました。

(本当だったんだあ)

(どうしてだろう?)

ちょっぴり教師の威厳を保ちながら、のぞき込む子どもたちの楽しそうな姿を見ることができました。

これからも、何度か登場する「魔法の水」と「まつボックリ」 楽しいなあ。帰りの会で、魔法の水の作り方を伝授しました。



水の中

まつぼっくりが、こんなになるなんておもわなかったので、びっくりしました。おとうにもみせたかったです。まつぼっくりをひろって、おうちでもやってみます。 4/13 (おおぜき ようこさん)

ようこそなら、きっとせいこうしますよ。

まつぼっくりは、水のなかでしぼんだのでびっくりしました。
4/13 (なわて れいかさん)

どうしてこんなになるのか、ふしぎですね。いや、まほうです。

まつぼっくりは、水の中に入るとしぼんで、水からだすとひらきます。
4/13 (みわ けいたくん)

ええ？ ひらくの？ それは、けいたくんのまほう？

連絡中長から

「コロッケ」だより、子供と一緒に読ませて頂きました。学校での一日の流れ、子供達の様子が手にとる様に判り、感激致しました。お忙しい中、あれだけの内容を作成されるのは大変だと思いますが、ネットではなく心のこもった学級通信を頂けて、とても嬉しく存じます。これからもご指導の程宜しくお願い致します。

追伸 早速家でも「まつぼっくりのまほう」をしてくれました。4/13

おっ、マスターしましたね。水を含むとどうして閉じてしまうのか。何のためかということは、やがて分かってきます。今は、まほうをお楽しみ下さい。

れんらくちょうに書く文字数が少しずつ増えて「がんばってるなあ」と思っています。4/14

今のところ必ず日記を書くようにとは、子どもたちに伝えていません。まず、元気に学校に来ることが一番と考えています。

小さな成長に気付き、温かい言葉をかけていくと、子どもたちは楽しみながら伸びていくということを、私は、これまで担任してきた子どもたちから教えられてきました。

今日も「給食一番だったよ。」と家ではビリなRが、得意気に話しておりました。「コロッケ」すごく親しみやすいネーミングですね。学校での

子供たちの様子がよくわかり、「コロッケ」を手にとりながら、Rとの会話ははずんでおりました。しかしまだ、幼稚園のお友達の絆のほうが強いのか、学校へお迎えにいきなり「幼稚園のお友達と遊びたい。」と話します。学校のお友達の絆は、まだまだこれからだと思いますので、少し見守っていたいと思っています。4/13

まだ登校して一週間もたちません。お友達との絆は、これからしっかり生まれてくることと思います。楽しみにさせてください。

「コロッケ」素敵なタイトルです。まだまだ疲れているせいか、学校のことを話してくれる余裕がない様で……。先生からのおたよりで楽しそうな様子を知ることができました。これからも子供と共に「？」を探究していきたいです。4/14

まだ、登下校だけでも大変疲れるのだと思います。仕方ありません。しばらくは「コロッケ」で、どうぞ！

いつもお世話になり、ありがとうございます。毎日とっても楽しみに学校に通ってくれており、大変充実した生活を送らせていただいております。ありがとうございます。4/14

私も楽しく仕事をさせてもらっております。ありがとうございます。

学級通信「コロッケ」、クラスの様子がよくわかります。ありがとうございます。詳しく語らない息子なので、ありがたいです。「つくしあるかな？」から、こんなに会話が広がるなんて、すごくおどろいています。4/15

私も驚いています。最初からこれでいいのでしょうか？ 3月には、小学校を卒業してしまいそうな勢いです。

3月後半には、また「つくし」が登場することと思います。その時の内容が楽しみです。

保護者の声を引用しながら学校での様子や担任の考え方を伝えていく。